

東京工芸大学が共催する「高校生のためのeiga worldcup 2020」の表彰式を本学中野キャンパス内で開催

2020年12月26日(土)に、東京工芸大学(学長:吉野 弘章、所在地:東京都中野区、以下、本学)中野キャンパス内で、本学が共催するイベント「NPO法人映画甲子園主催 高校生のためのeiga worldcup 2020(以下、本イベント)」の最終結果発表及び表彰式が開催されました。

今年の表彰式では、コロナ禍のため、会場形式に加えて、表彰式の様子が高品位360度映像で見られるYouTube生配信も行われました。応募総数93作品の中から、地域部門最優秀作品賞には神奈川県立横浜翠嵐高校の「高麗をめぐる」、自由部門最優秀作品賞には、独立行政法人国立高等専門学校機構 米子工業高等専門学校の「幽かな光」が選ばれました。

今年から設けられた山川直人賞には、独立行政法人国立高等専門学校機構 米子工業高等専門学校の「幽かな光」が選ばれました。本学芸術学部映像学科の山川教授の名前を冠したこの賞は、自由部門入選作品の中から、高校生の持つ心情、そして個性、感受性、人間的パワーを最も感じさせてくれた作品に対して贈られる賞となります。

本学は、高校生の自主制作映画の全国コンペティションである本イベントを通じて、教育的観点から映画界の人材育成に貢献することを目的に、2018年から本イベントに共催しています。

今後も本学では、高等教育機関として大学の持つ知的財産を活用し、社会に貢献できるよう取り組んでまいります。

※「NPO法人映画甲子園主催 高校生のためのeiga worldcup」とは

特定非営利活動法人映画甲子園による、国内最大規模の高校生の自主制作映画コンペティション。審査員は、日本アカデミー賞受賞などの力のある映画監督や脚本家、美術監督、編集ディレクター、テレビ局エグゼクティブプロデューサー、映画音楽の作曲家など総勢20名以上です。すべての応募作品について、審査のコメントやアドバイスメールをして個別指導を行います。さらに、表彰式終了後には、入選作品に対しても第二次審査員全員からのアドバイスメールを送付しています。



■ 山川直人氏のプロフィール

1957年4月10日、愛知県新城市に生まれる。1978年、「ビハインド」が『ぴあフィルムフェスティバル』に入選。16ミリ作品「アナザ・サイド」「パン屋襲撃」「100%の女の子」は、エジンバラ、ロンドン、ニューヨーク等の映画祭で上映され、高い評価を受ける。現在、東京工芸大学芸術学部映像学科教授。

■「NPO 法人映画甲子園主催高校生のための eiga worldcup 2020」

主催：特定非営利活動法人映画甲子園

共催：東京工芸大学

【最終審査結果発表及び表彰式】

開催日時：2020年12月26日(土)

開催場所：東京工芸大学・中野キャンパス5号館メインホール(東京都中野区本町2-9-5)

【海外での映画祭上映実績】

アメリカ・ロシア・フランス・ドイツ・ブルガリア・スロバキア・フィリピン・ルワンダ

本リリースに関するお問い合わせ

学校法人東京工芸大学 総務・企画課 広報担当 TEL:03-5371-2741 MAIL:university.pr@office.t-kougei.ac.jp